

## 「かけはしサロン 第三回 文献調査（１）～海外での史料（公文書等調査）」

法学研究科博士課程 野添文彬

### 1. 自分の研究テーマ

- 専攻は戦後日本外交史、東アジア国際政治史
  - 沖縄返還をめぐる政治過程を東アジア国際関係の観点から検討
- ←膨大な日米それぞれの政府の公文書を収集、分析する必要

### 2. 本プログラムでの経験

- 本プログラムでの研究目的…博士論文執筆に向けて、ジョンソン及びニクソン政権期の米国政府の東アジア戦略の観点から沖縄返還に関する政策決定過程を検討するため、当該期の外交・軍文書を調査
  - 昨年 8 月から 10 月にかけて、ジョージワシントン大学を拠点として、米国立公文書館（メリーランド州カレッジパーク）、ジョンソン大統領図書館（テキサス州オースティン）、ニクソン大統領図書館（カリフォルニア州ヨーバリンダ）で史料収集
  - 収集した史料
- ①米国立公文書館…統合参謀本部といった軍関係の文書（RG218）、国務省の韓国、台湾、中国といった日本以外のセントラル・ファイル、日本部・政策企画委員会・国務長官オフィス・国務次官オフィスといったロット・ファイル（RG59）など
  - ②ジョンソン大統領図書館…閣議の議事録、国家安全保障ファイルなど
  - ③ニクソン大統領図書館…キッシンジャー電話会談録、キッシンジャー・オフィス・ファイル、国家安全保障会議ファイルなど
- 史料収集の際にお世話になったアーキビスト
- ロバート・ワンプラー博士（ジョージワシントン大学国家安全保障文書館）、エリック・ヴァンスランダー氏（国立公文書館）
- 成果…博士論文の執筆、2011 年度日本国際政治学会研究大会日本外交史分科会での報告

### 3. 今後海外での史料調査を行うにあたって

- 参考書…仲本和彦『研究者のためのアメリカ国立公文書館徹底ガイド』（凱風社、2008）
- 資金面
- 宿泊場所、移動手段
- 必要なもの（電子機器を中心に）
- 史料面での準備…国内の史料チェック（図書館など）、事前の連絡、リスト作り
- 史料の調べ方について…量をとるか、質をとるか（自分の場合）→メモの重要性

### 4. おわりに

- ①史料は仮説を裏付けるもの②成果発表を見据えること③出発前の勉強・準備が大事